

みどり通信

公立黒川病院院内広報 令和7年1月1日 発行
院内の情報をみなさんにお知らせします



第122号
公立黒川病院院内広報
発行：公立黒川病院

《秋号の内容》

- 厄除け校歌
- おせちの由来
- へびのように

…管理者：角田 浩
…看護師長：佐々木 多恵子
…経営企画室課長補佐：高橋 秀作

厄除け校歌



管理者・医師：

角田 浩

(かくた ひろし)

年の初めに誰しも、今年は厄のない幸多い年になりますようにと願うであろう。

井伏鱒二さん作「厄除け詩集」の最後に「冬」という詩がある。

冬

「三日不言詩口含荆棘 / 昔の人が云ふことに / 詩を書けば風邪を引かぬ / 南無帰命頂礼 / 詩を書けば風邪を引かぬ / 僕はそれを妄信したい / 洒落た詩でなくても結構だらう / 書いては消し書いては消し / 消したきりでもいいだらう / 屑籠に棄ててもいいだらう / どうせ棄てるもおまじなひだ / 僕は老来いくつ詩を書いたことか / 風邪で寝た数の方が多し筈だ / 今年の寒さは格別だ / 寒さが実力を持つてゐる / 僕は風邪を引きたくない / おま

じなひには詩を書くことだ」

井伏鱒二さんは、「散文が書きたくなくなるとき、厄除けのつもりで」書いた詩を集めてこの詩集にしたらしい。詩をかけば風邪すらひかぬと信じていたのであろう。

詩が厄除けになるのかな、と思っていた時に、テレビで先日お亡くなりになった谷川俊太郎さんが作詞した同志社小学校校歌を見た。なるほどこんな詩（詞）を6年間歌い、この精神で成長すれば厄除けになるかもしれないと思った。その全文を下に紹介する。

「かんじる ゆめみる といかける / ころは ふしぎなおおきなへや / もりのみどり うみのあおへと / どこまでも すきとおる / せかいはとつても うつくしい / かんじる つたえる おもいやる / からだはやさしい ちいさなうちゅう / ひとのいたみかなしみみつめ ほほえんで てをつなぐ / あすをねがって いのるきょう / えらいひとになるよりも / よいにんげんに なりたいな / どうししゃしようのわたしたち」

この校歌に合掌である。今年もよろしくお願ひします。



おせち料理の由来

手術室看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師、診療看護師：

佐々木多恵子

(ささき たえこ)



最近は、お正月からお店が開いていてお豪華なおせちが購入でき、おせち料理を手作りする家庭も少なくなっているかと思いますが、おせち料理の由来について触れたいと思います。

おせち料理（御節料理）は御節供（おせちく）が「おせち」の語源。五穀豊穰や子孫繁栄、家庭円満、無病息災などの願いが込められています。おせち料理は、年神様をもてなしお供え物を神様と一緒にいただくことで、厄を祓い福を招くとも考えられています。さらに、「三が日は、縁を切ることにつながる包丁を使わない」「正月に料理をしなくて済むように」と言った理由の他、「三が日はかまどの神様に休んでもらう」意味もあるようです。新年の間は騒音を避け、年神様を迎えるために静かに過ごすことが望まれます。おせち料理は「祝い肴」「口取り」「焼き物」「煮物」「酢の物」という5つの料理で構成されており、重箱は「福を重ねる」意味があります。重箱の一段目は「一の重」祝い肴でお酒の肴・口取りで甘味のある料理。二段目は「二の重」焼き物で、縁起の良い魚介類を焼いた料理。「三の重」には、家族が仲良く結ばれるという意味を込めて、煮しめ(煮物)。四段目は「与の重」酢の物など。食材は多々ありますが、主な食材の意味・ゆわれについて…

伊達巻：学業成就などを願う縁起物

栗きんとん：金銀財宝を意味し金運を呼ぶ縁起物

紅白かまぼこ：赤色は魔除け、白色は清浄の意味

黒豆：「黒く日焼けするほどマメに働けるように」と、健康と勤勉さも表す縁起物

海老：長いひげを持ち重箱に背を丸めて入っている

ことから、長寿祈願の意味。目が飛び出ている見た目で「めでたい」という意味もあります。

れんこん：穴が開いていてその穴から先を覗くことができ将来の見通しが良い縁起物

諸説ありますがおやすみの時は、食材に感謝しながら静かに過ごせるとよいですね。

へびのように

経営企画室兼健康診断室：

高橋 秀作

(たかはし しゅうさく)



あけましておめでとうございます。今年も健やかな年になりますようお祈りいたします。今年、干支の由来となったとされる古代中国で使われていた「十干十二支（じっかんじゅうにし）」において、乙巳（きのと・み）の年とされています。巳は、古くから神の使いと考えられ、人々から大切にされてきた生き物です。また、巳は、脱皮を繰り返すことから、不老不死のシンボルとされ、巳年は、「再生や変化を繰り返しながら、柔軟に発展していく年」といわれています。健やかに日々を過ごすためには、普段から自分の体に関心を持つことがとても大切です。病気は、自分の力だけでは、避けられないものもありますが、早期に発見し、生活習慣を見直すことによって、発症や重症化を防ぐことができるものも少なくありません。そのため、健康診断は、体の異常を早期に発見し、病気の予防や早期の治療につながられるので、とても重要です。ときどき、病気が見つかるのが怖いという理由で、健康診断を嫌う人がいます。

今年、巳（へび）のように、このような考えから脱皮し、健康診断を受けて、その結果を基に、柔軟に自分の生活習慣を見直すことで、ますます健やかな年にしていきましょう。